

中間案から最終案に向けた修正方針（案）

1. 市長再選にともなうマニフェスト等との整合

市長が掲げるキャッチフレーズ
『こども、くらし、にぎわい。』
「新型コロナ危機を乗り越え、伊賀の元気づくり継続！」
・新型コロナから、市民のいのち・健康・暮らし・地域経済を守る対策と新しい価値の創造
市長が掲げる6つの重点目標
(1) 子育て世代の負担軽減と家計の底上げ、食育と地産地消の推進、小学校給食の無償化を進めます。
(2) 子どもの個性を大切にする学力の保障、伊賀らしい郷土教育の推進。
(3) 医師確保をはじめ地域医療の充実、地域包括ケアの推進、買い物・通院等の移動の支援。
(4) 「20世紀遺産20選」に選ばれた街並み、農山村の自然環境、旧市庁舎の有効活用による、観光戦略と賑わい創出。
(5) 伊賀の可能性を生かした農林業振興、移住定住、企業誘致、人材育成、雇用創出、新規起業・就農のさらなる推進。
(6) ひとりひとりが大切にされる、人権・平和・男女平等、多文化共生、多様性を大切にする施策の充実。
市長が掲げる4つの緊急課題
・河川の堆積土砂の撤去による防災対策
・新生児への10万円給付金制度の創設
・「産業振興条例」(仮称)の制定
・ふれあいプラザ跡への商業施設の誘致

2. 令和2年度事業の進捗にともなう修正

【修正方針】

○令和2年度事業が進捗したことにともない、「第1章 はじめに」の「2. 第2次計画の振り返り」においてCOVID-19対策関連の事業実績を記載するとともに、新たに策定が完了した計画・完了予定の計画の記載などを行う。

3. 計画を分かりやすくするための修正

【修正方針】

○基本事業の名称をできる限り単純化する。

(例:「救急医療体制の充実」→「救急医療」)

○成果指標の指標名をできる限り単純化するとともに、年度の記載を省略する。なお、詳細は巻末において別表を掲載する。

(例:「育てにくさを感じる親のうち相談先を知っている等何らかの解決する方法を知っている親の割合」→「相談先・解決方法の認知度」)